防災の基本、それは自分の身は自分で守ること。

自主防災組織知ってますか？

防災の基本は、『自分の身は自分で守る』です。しかし、災害から守らなければならないものは、自分の身だけではありません。家族、財産、親しい友人、そして愛するまち……。

それらを守るためには、市や個人の防災対策だけでなく、地域の住民が共に協力し合って取り組む『自主防災組織』の活動が重要になります。

地域の自主防災組織とは、町内会や自治会、学校区などの住民で結成される、いちばん身近な防災活動組織です。

その役割は、災害が発生したときに住民が協力し合って、いち早く負傷者の救出・救護や火災の初期消化活動を行うなど、被害を最小限に食い止めて、自分たちのまちを守ることです。

災害時には、地域全体が被災しますから、消防や救急が対応しきれなくなります。そういう場合でも、自主防災組織が迅速に救出・消火活動を行えば、火災が広がるのを止めたり、逃げ遅れた人や建物に埋もれた人を早く発見・救出することができます。

阪神・淡路大震災でも、住民のバケツリレーによる消火活動が火災の拡大を防ぎました。また、救出された人のほとんどが、住民によって助け出されました。

災害時の自主防災組織の役割は「情報連絡」「消火活動」「救出・救護」「避難誘導」「給食・給水」などの分野にわたります。

大きな災害は頻繁に起こるものではありませんが、いざ、災害が起こったとき、自主防災組織がそれぞれの分野の役割を機能的に果たすためには、普段からの防災活動が重要です。

まちの防災力を高めよう

災害時には、「自助」「共助」「公助」の三つの助けを必要とします。つまり、自分で自分を助けること、地域の人と人との助け合い、そして行政からの支援です。

このうち、いちばんの基本は自分で自分の身を助ける「自助」、個個の家庭での防災です。自分がけがをしてしまったら、人を救助したり、火事を消したりすることもできません。

災害時にけがをしないためにも、家の中の家具を固定したり、非常持ち出し袋を用意したりするなど、家庭での防災をしっかりしておくことが大事です。

こうした個々の家庭での防災が、じつはまち全体の防災力のアップにつながるのです……。

もともと日本は、地理的・気象的条件などにより自然災害を受けやすいことから、世界有数の『災害大国』として知られてるんだ。

昭和20年代から昭和30年代前半までは、戦争による国土の荒廃と相次ぐ大型台風や大規模な地震で、1千人を超える人命がほぼ毎年のように失われていたんだよ。特に、昭和34年9月の伊勢湾台風では、4759人もの死者が出て、行方不明者・負傷者を含めると、なんと4万3962人がその被害を受けたんだ。その後は、戦後次々に日本を襲った大型台風や大規模な地震などが発生しなかったことに加えて、防災関連諸制度の整備による防災体制の充実、気象観測施設・設備の充実、災害情報伝達手段の発展普及、そしてなにより国民の防災意識が高まったことによって、死者・行方不明者が共に年間2百人～3百人まで減少していったんだ。

でも、ここ数年は平成5年に北海道南西沖地震、平成7年には阪神・淡路大震災が発生して、死者・行方不明者合わせて6400人を超す戦後最大の災害が発生してるんだ。

そのため、現在留萌では全国各地で発生している大規模な災害を教訓に、地域防災計画の見直しを検討してるんだよ。

でも、「この計画ができたら災害が起きても防災関係組織が何とかしてくれるから安心」と言う甘い考えを持っちゃダメだよ。

どんなに完璧と思われる計画をたてたとしても、その予測を上回る災害が実際に起きているんだから。みんなが頼る防災関係組織がいざと言うとき機能しなかったとしたら…、その時、あなたはどうしますか。

自治会名	洪水時の避難所（電話番号）	洪水後の避難所
元町	北光中学校（☎42－1597） 港北コミュニティーセンター（☎42－2719）	同左
錦町・明元町 船場町	留萌地域消費生活センター（☎42－0651）	同左
栄町1丁目	勤労者体育センター（☎43－2896）	同左
栄町3丁目	留萌市中央公民館（☎42－3333）	同左
栄町2丁目 開運町・旭町	留萌市スポーツセンター（☎42－2917） 双葉会館（☎42－3446）	同左
末広町・花園町 高砂町	東光小学校（☎42－1820） 八幸会館（☎43－5430） 住之江児童会館（☎42－4381）	同左
野本町	留萌千望高校（☎42－1417）	同左
千鳥町・元川町 五十嵐町	留萌中学校（☎42－1811）	同左
堀川町	留萌開発事務所（☎42－0294）	留萌中学校（☎42－1811）
南町	緑ヶ丘小学校（☎42－1294） 留萌市東部地区公民館（☎43－6002） みどり会館（☎42－1294）	同左
東雲町（下流）	留萌高等学校（☎42－0730）	留萌地域人材開発センター（☎42－0348）
東雲町（上流） 大和田町（下流）	児童公園（☎42－1801）	留萌地域人材開発センター（☎42－0348）
潮静	潮静小学校（☎42－1607）	同左
大和田町（中流）	大和田生活館（☎43－8452）	同左
大和田町（上流）	留萌霊苑（☎42－1199） ※斉藤斉宅（☎42－4038）	大和田消防会館（☎42－9038）
藤山町（下流）	八幡神社（☎43－4905） ※遠藤信一宅（☎43－1890）	藤山小学校（☎43－1315）
藤山町（中流）	藤山小学校（☎43－1315）	同左
藤山町（上流）	※原田通陽宅（☎46－1076） ※谷正夫宅（☎46－1543）	藤山小学校（☎43－1315）
幌糠町（下流）	※次木若栄宅（☎46－1075） ※久保隆宅（☎46－1434） ※室田義明（☎46－1432） 幌糠小中学校（同右）	幌糠小中学校（☎46－1044）（☎46－1144）
幌糠町（中流）	※ドライブイン憩	幌糠小中学校（☎46－1044）（☎46－1144）
幌糠町（上流）	※横山幸男宅（☎46－1704）	幌糠小中学校（☎46－1044）（☎46－1144）
峠下町	国道233号駐車帯裏河川敷地 （市役所：☎42－1801）	幌糠小中学校（☎46－1044）（☎46－1144）

※印については、この地域に公的施設がないため、個人住宅等を暫定的に避難所として指定したものです。